

歴博 暮らしの植物苑だより

暮らしの植物苑観察会

第99回 6月23日(土) 13:30~ 暮らしの植物苑

「シーボルトと暮らしの植物苑」辻誠一郎 (東京大学大学院)

観察会100回記念 7月28日(土) 13:30~ 暮らしの植物苑

「市民のための暮らしの植物苑」辻誠一郎 (東京大学大学院)

暮らしの植物苑今週の見どころ <http://www.rekihaku.ac.jp>

暮らしの植物苑特別企画—江戸を咲かす



『伝統の朝顔』

7月24日(火)~9月2日(日)

○7月24日(火) 内覧会(参加自由) 終了後 11:00 朝顔の苗有償頒布予定

◎8月21日(火)~26日(日) 8時開苑とします。

◎8月25日(土) 10:00~ 第101回暮らしの植物苑観察会

「変化朝顔の世界」仁田坂英二(九州大学大学院) 時間が10:00~です



伝統の朝顔展では、普段見ているアサガオとはまったくちがったアサガオを栽培しています。写真にあるアサガオは兄弟の株になります。花は丸い花だったり、切れていたり、これから楽しみになります。企画展では、江戸時代に世界に誇れる変化朝顔の世界をご覧ください。5月の種子蒔きから、ポット上げ、そして本鉢上げになりました。花芽はまだですが、葉のいろいろの形など今後紹介していきます。

苑庭には、ヨーロッパで栽培されているアサガオが大きな鉢に植えられています。今年は朝顔の色・朝顔の紋様をテーマに、コーナーを設けて展示を行います。



茶色



紫色



葡萄鼠色

ユウゼンキク (キク科シオン属)

北米原産の耐寒性多年草で、枝はよく分枝し、背丈は矮性で30cmくらいになります。通称名でユウゼンキクといわれるものは、近縁のアメリシオンなどの園芸品種の総称です。苑内にも園芸品種です。



クマノミズキ (ミズキ科ミズキ属)

山地に生える落葉高木。ミズキとは違い葉が対生し、枝の張り方は放射状で、斜上します。花は散房花序を枝先につけ、ミズキより1ヶ月ほど遅くに咲きます。樹皮は暗灰緑色で浅い裂け目が縦に入ります。電車から花がよく目立ちます。



ザクロ (ザクロ科ザクロ属)

鑑賞用や薬用に栽培されている落葉小高木。枝わかれが多くとげがあります。新しい枝に朱赤色の花をつけます。鬼子母神が手に持つ吉祥果や、その神紋にザクロがつかわれています。ザクロを吉の木と思う地方と、嫌う地方があります。以前は金属鏡はザクロの実の汁で磨いていました。



クチナシ (アカネ科クチナシ属)

暖地に生える常緑低木で、花や果実が美しいです。果実は無毒なので、食用やクチナシ染めに利用されています。



ナンテン (メギ科ナンテン属)

庭木としてよく栽培されています。茎の先端には円錐花序をつけます、花は白色で6本の雄しべが良く目立ちます。薬はほかのメギ科の植物とは異なり、縦に裂開します。果実を薬用にも利用し、葉は縁起ものとして、お赤飯に添えたりする。

